

232鉄道車両を起因物とする死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発 生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	小業種	労働 者規 模
1	2018	1	16 ～ 17	列車（2両編成）乗務中、乗車されたお客様へ乗車券を発売すべく、1両目より2両目へ移動した際に、通路（連結部分の蓋）につまずき、車内で転倒し動けなくなった。	53	2	40101	100 ～ 299 人
2	2018	1	10 ～ 11	お客様玄関先で配達を完了し、車両に戻ろうと体の向きを変えた際、左足をひねり負傷した。	59	3	40101	300 ～ 499 人
3	2018	2	14 ～ 15	T字路交差点で、配達のため二輪車に乗車中、左折のため交差点手前で停車する際、左側から道路内側を車両が道路を塞ぐ形で進入してきたため、避けきれず衝突した。	60	17	110101	100 ～ 299 人
4	2018	4	8 ～ 9	勤務中列車のドアが閉扉し始めたが車内混雑で閉扉できなかったため、両手で力を加えながら閉扉させようとしたところドアが突然開扉した。そのため、ドアから手を放すことができずドア戸袋に右手小指の第二関節まで引き込まれ、骨折となった。	60	7	170201	100 ～ 299 人
5	2018	4	8 ～ 9	出張先から戻る途中の車内にて走行中、当日は雨が降っていたこともあり、床と靴の裏が濡れていた環境で、通路で右足のみ正座の状態転倒した。	55	2	170209	1000 人以上
6	2018	4	14 ～	顧客訪問の帰り、電車に乗車し目的地の駅に到着し、降車する	25	2	90103	500 ～

14	2018	9	11 ～ 12	車両清掃を終えて運転室から降車し、右手をドア枠に置いて左手でドアを持って閉扉した際、右手の小指と薬指を挟んだ。	48	7	150101	30～ 49人
15	2018	9	11 ～ 12	車両清掃を終えて運転室から降車し、右手をドア枠に置いて左手でドアを持って閉扉した際、右手の小指と薬指を挟んだ。	48	7	150101	30～ 49人
16	2018	9	11 ～ 12	車両清掃を終えて運転室から降車し、右手をドア枠に置いて左手でドアを持って閉扉した際、右手の小指と薬指を挟んだ。	48	7	150101	30～ 49人
17	2018	9	11 ～ 12	車両清掃を終えて運転室から降車し、右手をドア枠に置いて左手でドアを持って閉扉した際、右手の小指と薬指を挟んだ。	48	7	150101	30～ 49人

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例まで（2018年）](#)に戻る。